

市民団体など



「3・21抗議行動実行委員会」は21日、宮古島へのミサイル基地配備に抗議する集会とデモ行進を行った。県内外の市民団体などから約40人が集結し、「宮古島にミサイル基地はいらないぞ」などのシュプレヒコールを叫びながら市街地を練り歩いた。千代田基地正門前で「ミサイル基地いらない宮古島住民連絡会」の仲里成繁代表が、陸自司令代理の尾形弘亞喜渉外幹部に抗議声明文を手渡す場面もあった。

集会は午後2時から千代田基地正門近くで行われた。「宮古島新基地NO!」と書かれたのぼりやプラカードを持った参加者らで埋められ、県内外から駆けつけ

た有志らによるスピーチが行われた。仲里代表は「自分のふるさとから戦争につながることはさせない。日本が2度と過ちを犯さないようにみんなで阻止しよう」と呼びかけた。

市議会議員の上里樹氏は「防衛省は弾薬庫は作らないと住民を騙した。憲法、住民の声、すべてを無視する形で基地建設が進められている」と述べ、千代田駐屯地に設置されている火災標識を見せながら、「これは第1級の弾薬が収められるという標識。危険な弾薬庫は保良というイメージがあるかもしれないが、千代田にもあるということ」と強く訴えた。

元県議の奥平一夫氏は「2015年に佐藤防衛副大臣が宮古島に来てから、あれよあれよという間に千代田駐屯地近くを叫ぶ参加者ら」などのシュプレヒコールを

ミサイル基地配備に抗議

全国各地から参加者集結

代田駐屯地が作られ、弾薬庫が作られようとしている。住民の命と暮らしを守る責任を負う宮古島市長は、議会の質問で基地問題に関しては知らぬ顔。基地や弾薬庫が住民にとって本当に安全かどうかを防衛省に確認すべきだ」と批判した。

「市長は説明責任を果たせ」「子や孫の世代に平和を残そう」などのシュプレヒコールが叫ばれた。

「ミサイルいらない」

宮古島陸自搬入に市民抗議

【宮古島】宮古島への陸上自衛隊配備計画を巡り、市上野野原の宮古島駐屯地に地対艦ミサイル発射台を

搭載した車両などが搬入されたことを受け、市民有志らは21日、市内で「3・21ミサイル配備强行抗議行



地対艦・地対空ミサイル関連車両の搬入を巡り、陸上自衛隊に抗議する市民ら=21日、宮古島市上野野原の宮古島駐屯地

意見を述べた。

集会で採択された抗議決議文は、宮古島駐屯地に建設された弾薬庫には大量の弾薬が保管される懸念があると指摘した上で、「民間住宅から至近距離である」とを鑑みれば、即時撤去すべきだ」としている。ミサイル基地いらない住民連絡会の仲里成繁代表が読み上げ、同駐屯地の尾形弘亞喜涉外幹部に手渡した。

動を行った。宮古島駐屯地前で抗議集会を開き、県内外から集まつた約40人が「ミサイルはいらない」など拳を振り上げた。その後、市内でデモ行進をした。集会では各地から集まつた市民らが次々とマイクを握り、「新たな基地に断固として反対し、平和を守ろう」「沖縄だけの問題ではなく、日本全体の問題として取り組むべきだ」などと